

フォーラム Forum Senior Life News Letter

シニアライフ通信



高齢者が使用される事由として多いのが、病院受診やリハビリなどの通院、一時帰宅、介護施設への送迎などがあります。また、お買物やお食事、最近、葬儀場や結婚式場な

利用者様ご家族のリクエストからはじまったのですが、「介護タクシーで行く！ 桜島1周日帰り旅行」を行っています。桜島港のそばにある『溶岩なぎさ公園』には、およそ100mの足湯があり、車椅子の方も安心し

外出好きの母が脳梗塞で倒れ、半身麻痺になったことがきっかけです。花が好きな母

取材協力
介護タクシー えがお四季
080-2553-5818
本社
曾於市財部町北保10807
都城営業所
都城市高城町大井手
2508-1

生活に必要な申請や届け出、預金引き下ろしなどが挙げられます。
保険適用の介護タクシーを利用される場合は、ケアマネージャーへご相談されるとよいでしょう。
また、保険適用外の介護タクシーも増えてきています。弊社も保険適用外となるため、身体や認知機能に不安がある方でしたら、どなたでもご利用いただけます。要支援の方や、介護認

定はされていないけれど移動に不安がある方、もちろん要介護1〜5の方の利用も増えてきています。ただ、はじめて利用される場合は、1週間くらい前からのご予約をお願いしています。安全・安心に移動していただくために、利用者様の身体状況や体調などを、詳しくケアマネージャーやご家族様からお伺いして、最善の準備を行う必要があります。

●現在、「えがお四季」さんを利用されている方は、どのような方が多いですか？

やはり高齢者が多いのですが、身体障がい者の方、その他に普段はお元気なのですが、ケガや病気で一時的に歩行に不安がある方にも利用していただいています。

●介護タクシーを使った日帰り旅行も企画されていると伺いましたが、どのような内容なのでしょう？

●「えがお四季」さんを立ち上げたきっかけと、今後の目標を教えてください。

ど、「冠婚葬祭での利用も増えてきています。
弊社を毎月1回利用されている男性の場合は、介護施設にお迎えに行き、自宅へ帰り、その後お買物、お食事へと出かけられます。車いすのため、一緒に同行させていただくこともあるのですが、洋服を見ながら「若い人に人気の洋服はどれね？」と聞かれることもあり、ショッピングを楽しまれている姿を近くで見ると、こちらまで笑顔になります。
また、病院からの転院や退院、介護施設からの病院受診や一時帰宅などのご依頼も多くいただいています。

て入浴することができません。こちらは、錦江湾を臨みながら桜島の山並みを眺めることのできる絶景スポットで、利用者様もご家族もとても喜ばれていました。お昼には、桜島付近で海を見ながら新鮮な海鮮料理を堪能していただき、桜島1周の間にあるたくさんのお土産屋や道の駅でお買物を楽しんでいただくコースになります。
ご家族の方からは、「自分達だけで旅行へ連れて行くとなると心配が伴うのですが、介護のブローが一緒なので、安心して心から楽しめました」というお声をいただきました。

で、季節のさまざまな草花を見に出かけていたのですが、麻痺状態となり外出が難しくなり、笑顔が少なくなっていました。『えがお四季』を立ち上げるまでは、高齢者の移動について何も知らなかったため、一緒に外出しても困難なことが多く大変だな……と感じていました。そのため、母のような方とご家族の外出をサポートすることで、一人でも多くの方を「笑顔」にできたらという思いでスタートしています。

これからも、利用者様を安心して送迎するための技術を磨き続け、さまざまな楽しい企画を増やし、「笑顔」を広げていけたらと考えています。外出で困ったことがありますら、何でも気軽に相談ください。



●介護タクシーは、どのようなサービスになるのでしょうか？

●利用可能な人の条件はありますか？ また、どのようにすれば利用できるのでしょうか？

合と適用されない場合があります。介護保険では「訪問介護サービス」のひとつとなり、利用する際には、次の条件が必要となります。

- ①要介護1〜5の方 ※要介護1以上であっても、自分で移動できる方は適用に含まれない
- ②介護保険のケアプランに基づく利用届出が必要であり、利用前に申請や確認が必要です
- ③利用の目的が「日常生活上または社会生活上必要な行為に伴う外出」に該当するものに限られます。通院や選挙投票、日常

特集

自分自身での移動が困難な方向けの送迎サービス「介護タクシー」についてご紹介していますか？

高齢者だけでなく身体障がい者の方々の通院や買物、旅行など、好きな場所へ自由に行きたいという願いを叶えるサービスのひとつに「介護タクシー」があります。都城圏域での「介護タクシー」について、『えがお四季』の長野豪貢代表にお話を伺ってきました。

が必ず運転を行うというところ。また、要介護度の高い方が乗車される場合には、運転手とは別に介護資格を保有するスタッフが一併に同乗し、移動中の介助を行う場合もあります。利用者や安全に送り届けるために、車いすやストレッチャーを乗せられるワンボックスカーを使用するサービスを行っているところが多いです。